

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1015

所管部局	土木建築部	所管課	道路河川課	担当者名	前田 良一
事業名	河川改修事業			事業分類	ハード事業
細事業名	統合準用河川改修費補助 準用河川板野川			政策体系	261
会計	一般会計	科目	8.土木 - 3.河川 - 2.河川		

## 1. 事業の概要

地域住民の安心安全な生活を確保すべく集中豪雨等による浸水被害を防ぐため、他事業と併せた効率的な河川整備を継続して進めた。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

土石流などの災害防止のための砂防事業等の推進並びに一級河川の改修事業については、国・府に要望を行う。  
また、市管理の準用河川・普通河川については、必要に応じて改修を進める。

### ② 事業を実施する必要性

準用河川板野川については大部分が天井川であるうえ河川幅が狭く堤防等の老朽化も著しく、度々の増水による氾濫で被害が耐えない状況である。また、本河川流域における「区画整理事業」や「ほ場整備事業」が計画されており、これら事業に併せた河川改修により早期に災害防止を図る必要がある。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	207,106	443,123	201,300	15,900	30,100	42,000	39,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	720	0	2,400	2,400	1,200	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	68,970	147,000	67,000	5,300	10,000	13,000
	地方債	千円	74,000	80,000	30,000	0	18,000	23,400
	一般財源	千円	64,136	216,123	104,300	10,600	2,800	2,600
職員等の従事人員	人/年	—	—		1.70			
人件費	千円	—	—		13,158			
事業費総額	千円	—	—		26,658			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。  
※平成21年度の(繰越分)国府支出金 2,900,000円、一般財源 5,800,000円

## 4. 主な事業費の内訳

(繰越分)	
○統合準用河川改修費補助 準用河川板野川	8,700,000円
・業務委託料	7,881,150円 (河川改修計画設計業務ほか)
(現年)	
○統合準用河川改修費補助 準用河川板野川	7,200,000円
・業務委託料	3,864,000円 (河川改修検討業務ほか)
・補償金	247,674円 (作物補償)

## 5. 事業結果の概要

事業計画を総点検し、整備区間及び施設整備の優先順位等について見直しを行うことで、事業の早期効果発現とコスト削減を図った。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>統合準用河川改修費補助事業</b>		
○準用河川板野川 改修検討業務 L=1800m 不動産鑑定評価業務 1式 損失補償 2件	2009/10/22～2010/2/26 2010/2/3～2010/3/19 2009/7/29	3,150,000円 714,000円 247,674円
<b>統合準用河川改修費補助事業（繰越）</b>		
○準用河川板野川 登記等業務 1式 計画設計業務 L=2600m	2009/4/1～2009/6/1 2009/4/1～2010/2/26	1,371,150円 6,510,000円

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

・板野川河川改修については長期に渡る大規模な事業で、本事業区域で実施の他事業と密接に関わる事業であることから、今後も施工調整を十分に図りながら効率的な執行が求められる。  
現在の進捗は事業延長1800mのうち、最も難関で大きな事業費を要する下流のJR軌道下付近の50m区間が完成したところであり、今後その上流域の他事業区域内の事業進捗を図ることとしている。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--